

## 「麻しん」について

麻しんは、麻しんウイルスが原因で発症する感染症で、「はしか」とも呼ばれ、一度かかると、終生免疫を獲得すると言われています。

感染力が非常に強く、肺炎や脳炎、中耳炎などの合併症を起こすこともあり、注意が必要です。

特に近年の麻しんウイルスの分離・検出状況は海外由来型のみです。

海外からの持ち込みによる2次感染事例が全国的に発生しているので注意が必要です。

また、流行国に渡航するような場合は、予防接種についてかかりつけ医師等にご相談ください。

### 1 感染経路

空気感染・接触感染

### 2 潜伏期間

10～12日

### 3 主な症状

#### (1) カタル期 (2～4日)

38℃前後の発熱、咳、鼻水、くしゃみ、目やに、結膜充血などがみられ、熱が下がった頃に頬粘膜に白い水疱(コプリック斑)が出現します。

#### (2) 発疹期 (3～4日)

一度下がった発熱が再び高熱(39～40℃)となり、特有の発疹が耳の後ろ、首、顔、体幹、上肢、下肢の順に広がります。

#### (3) 回復期 (7～10日)

熱が下がり、発疹も消失する。



### 4 周囲に感染させる期間

発症の1～2日前から発疹後4～5日まで

### 5 感染予防(予防接種)

感染を予防するには予防接種が有効です。

現在は、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)により抗体を獲得することが一般的です。

【予防接種法に基づく定期予防接種の対象者(無料)】

- ・第1期：生後12か月から生後24か月未満の者
- ・第2期：5歳以上7歳未満の者

※定期予防接種の対象でない場合は、任意接種(自己負担)となります。

※妊婦は接種できません。



### 6 治療方法

効果的な治療薬はないため、症状を抑える対症療法が中心となります。

### 7 参考

麻しんは、学校保健安全法における第2種の感染症とされており、解熱した後3日を経過するまでは出席停止となっています。